

第5回とよがわ流域県民セミナー

主催
愛知県

次 第

日時：平成25年5月18日（土） 13:00～
場所：新城文化会館

開会

講演①「豊川におけるネコギギの実態とダムの負荷影響」
岐阜経済大学地域連携推進センター教授 森誠一氏

講演②「ダムと土砂環境について」
京都大学防災研究所水資源環境研究センター長・教授 角哲也氏

（休憩） 質問シート記入

質疑応答・ディスカッション

閉会

講師プロフィール



森誠一氏

岐阜経済大学地域連携推進センター教授。「本願清水イトヨの里」館長、理学博士。国土交通省河川基本方針検討小委員会、環境省計画段階環境配慮技術検討会、文化庁文化財審議委員会（天然記念物）、愛知県・福井県教育委員会文化財審議員、熊本県荒瀬ダム撤去技術検討委員会、いなべ市教育委員会ネコギギ保護増殖指導委員会などを務める。主な著書に「トゲウオのいる川」（中公新書）、「トゲウオ出合いのエソロジー」（地人書館）、「トゲウオの自然史」（北海道大学図書刊行会）、「希少淡水魚の現在と未来」（信山社）、「天恵と天災の文化誌」（東北出版企画）、「適応放散の生態学」（翻訳：京都大学学術出版会）などがある。



角哲也氏

1960年福岡市生まれ。京都大学防災研究所水資源環境研究センター長・教授、博士（工学）。淀川水系総合土砂管理委員会委員長、天竜川、矢作川総合土砂管理委員会委員などを務める。最近の著作に、「ダムの科学」（編著、ソフトバンク・クリエイティブ、2012年）、「生命体「黄河」の再生」（分担執筆、京都大学学術出版会、2011年）、「ダムと環境の科学Ⅰーダム下流生態系ー」（分担執筆、京都大学学術出版会、2009年）などがある。

設楽ダム連続公開講座 とよがわ流域県民セミナーのご案内

1. セミナーの目的

当セミナーは、設楽ダムに関して県民が共に考えるための取組みの一つとして、様々な情報を広く県民に分かりやすく提供することを目的としています。

2. 運営主体

5名で構成される運営チーム委員及び愛知県政策顧問によって運営しています。

運営チーム委員

◎リーダー（敬称略）

氏名	職名
◎ 戸田 敏行	愛知大学 地域政策学部 教授
井上 隆信	豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 教授
蔵治光一郎	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 生態水文学研究所長・准教授
富永 晃宏	名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授
原田さとみ	タレント／エシカル・ペネロープ株式会社 代表取締役

愛知県政策顧問のうち知事が指名する者

小島 敏郎	青山学院大学国際政治経済学部 教授
-------	-------------------

3. 進め方

運営チーム会議（原則として公開）を開催し、公開講座のテーマ・講師の選定等を行い、順次、公開講座（とよがわ流域県民セミナー）を開催します。

回	テーマ	開催日（予定を含む。）	開催場所
第1回	とよがわ流域って何	平成24年7月28日（土）	愛知大学豊橋キャンパス
第2回	設楽ダムは何のため	平成24年10月6日（土）	愛知県図書館
第3回	設楽ダムと三河湾の環境・生態系・漁業	平成24年11月23日（金）	蒲郡市勤労福祉会館
第4回	設楽ダムへの投資と効果～愛知県財政とダム事業効果を考える	平成25年2月11日（月）	愛知大学名古屋キャンパス
第5回	ダムが河川環境に及ぼす影響～魚類生息と土砂輸送に与えるダムの影響を考える	平成25年5月18日（土）	新城文化会館
第6回	とよがわ流域の水利用計画	平成25年8月3日（土）	愛知大学豊橋キャンパス

第1回、第2回では、総論的な情報提供を行い、第3回以降、個別課題を取り上げています。第7回以降も順次、テーマを設定して開催する予定です。

◎情報発信

とよがわ流域県民セミナーについては、愛知県のホームページやフェイスブックで開催案内や開催結果について情報発信。セミナー当日はユーストリーム上で同時配信予定

愛知県ホームページ(<http://www.pref.aichi.jp/>)

フェイスブック(<http://www.facebook.com/shitaradam>)

ユーストリーム(<http://www.ustream.tv/channel/とよがわ流域県民セミナー>)

4. 連絡先

事務局：愛知県地域振興部土地水資源課水源地域対策グループ

電話 052-954-6122 FAX 052-961-3293 電子メール tochimizu@pref.aichi.lg.jp